

普及活動情勢報告（令和6年7月分）

安芸農業振興センター農業改良普及課

非辛味シシトウに興味津々～中芸地区雨よけシシトウ現地検討会～



SAWACHIや非辛味シシトウについて説明する普及指導員

6月14日、JA高知県中芸地区ピーマン・シシトウ部会が雨よけシシトウ現地検討会を開催し、JA、農業改良普及課と生産者4人が参加しました。

安田町、田野町、奈半利町の各生産者のほ場を視察し、管理の工夫や改善点、病虫害の発生状況について意見交換しました。

農業改良普及課は、SAWACHIの機能紹介や非辛味シシトウ「ししまろ」の情報提供をしました。

参加者からは、「SAWACHIは気象画面が見やすい。ニュースも参考になる」「ししまろは樹勢のコントロールが難しそうだが取り入れたい」との声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も部会活動等を通じて、SAWACHIの利用推進とシシトウの生産安定に向けて支援していきます。

楽に安全に防除しませんか？常温煙霧機の紹介～穴内ナス部会反省会～



試験結果を説明する普及指導員

6月19日、JA高知県穴内支部ナス部会が穴内集出荷場で、反省会を開催し、生産者8人が参加しました。JAは定植初期の栽培管理を、農業改良普及課はナス病害の省力的な防除につながる常温煙霧の実証試験結果を説明しました。

参加者からは、「薬剤散布は労力がかかり大変」など、労力負担の軽減を望む声が聞かれました。

農業改良普及課は今後も防除技術の検討や情報提供を通して、省力的な技術導入に向けて支援していきます。

決算書からお金の動きを見てみよう～赤野ナス部会勉強会～



勉強会の様子

6月24日、JA高知県赤野支部ナス部会が赤野集出荷場で勉強会を開催し、生産者11人が参加しました。JAはPCお竜の整枝方法を、農業改良普及課は決算書の見方を説明し、自らの経営状況の振り返りを提案しました。

参加者は、説明を熱心に聞き、参加者同士で意見交換し合うなど経営への関心の高さがうかがえました。

農業改良普及課は今後もJAと連携して経営の安定化に向けた支援をしていきます。

農薬・防除の基礎を学ぼう！～ユズ新規就農者講習会～



農薬の適正使用について
指導する普及指導員

6月25日、JA高知県安芸地区柚子部がJAあき支所で「新規就農者講習会」を開催し、生産者20人が参加しました。

この講習会は、新規就農者を対象に年間3回開催しており、今回は「農薬」をテーマに開催されました。

農業改良普及課は、農薬適正使用のポイントや病気と害虫の防除方法の違い等について講義を行いました。また、青果出荷者の防除事例について柚子部長から報告がありました。

受講者からは、「農薬や病害虫の特性に応じた薬剤散布について理解できた」「他の人の防除事例が参考になった」との声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も講習会等を通じて、新規就農者等担い手の早期技術習得に向けて支援していきます。

令和6年度第1回農業改良普及推進協議会を開催



会議の様子

6月26日、田野町ふれあいセンターで農業改良普及推進協議会を開催し、協議会構成員（農家代表者、JA、市町村）18名が出席しました。

会では、令和6年度普及指導計画の概要等についての説明を行った後、出席者との意見交換を行いました。

出席者からは「若者が農業に魅力を感じるように、10年20年後に高知県が先進県として思ってもらえるような取り組みを進めてほしい」等の意見が出されました。

農業改良普及課は、構成員からいただいた意見や提案を今後の普及活動に活かしていきます。

手軽に始める！簡易温湿度計でハウス内環境管理の第一歩 ～芸東ナス部会反省会～



真剣に話を聞く生産者

7月5日、JA高知県芸東ナス部会は反省会を開催し、生産者19名が参加しました。

農業改良普及課室戸支所はハウス内環境の「見える化」を更に推進するために、安価で手軽に設置でき、温湿度を記録できる防水温湿度計を紹介しました。

部会ではこの防水温湿度計は、スマホで容易にでハウス内環境をモニタリングできることから多くの方が興味を示していました。

農業改良普及課室戸支所は引き続き、データ駆動型農業に繋がる取り組みに向けて支援していきます。

基礎知識を学ぼう！見直そう！～第1回農業基礎研修講座～



講座の様子

7月17日、安芸農業振興センターで令和6年度農業基礎研修講座を開催し、管内の新規就農者及び研修生等26名が参加しました。

今年度から従来の新規就農者コースと、より基本的な内容を学べる研修生コースを新設し、2コースに分けて実施しました。

農業改良普及課の職員が講師を務め、土壌肥料や農業経営についての講義を行い、研修生コースの参加者からは、「基礎的な知識が学べて良かった」という意見がありました。

今年度は、それぞれ7回ずつの開催を予定しており、農業改良普及課は、今後も農業基礎研修講座を通じて、参加者の支援を行っていきます。

採花率の向上を目指して～トルコギキョウ低濃度エタノール土壌還元消毒実証ほ～



菌密度調査のための採土する普及指導員ら

6月から7月にかけて、芸西村のトルコギキョウ栽培ほ場で低濃度エタノール土壌還元消毒の処理が開始されました。

農業改良普及課は、各ほ場に応じた処理方法の個別指導を行う他、県農業技術センターとともに処理前の菌密度調査を行いました。

生産者からは、「年々、枯れが減って効果を感じているので今年も期待したい。」、「処理方法が理解できたので、来年からもできそう。」との声が聞かれました。

今年度で実証事業は終了しますが、採花率の向上に向けて、既存の技術と組み合わせた効果的な土壌消毒の実施を今後も支援していきます。